

# 判決は間近!

大飯原発3・4号  
運転差し止め仮処分裁判

## 判決を基に、全国の圧倒的な世論で 大飯原発を止めよう!

大飯原発3・4号の安全性判断が、司法によって初めて示されます。国は昨年、「4閣僚の政治判断」で安全性の判断も行わず再稼働を強行しました。原子力規制委員会は、大飯の運転を継続させたまま、活断層評価の判断を引き延ばしています。さらに、7月からの新基準・新法もすぐには大飯原発には適用せず、9月の定期検査に入るまで運転を続けることを容認しています。

このように、大飯原発だけは特例扱いの中で、司法が判断をくだします。関電はもとより、国の無責任な姿勢を厳しく問う判決となるでしょう。

裁判の最大の争点は、活断層の3連動時に、原子炉を止めるための制御棒が基準値2.2秒以内に挿入できるかにあります。さらに、敷地内の断層問題もあります。関電は「地震の時は基準値2.2秒は守らなくてもよい」とする暴論をはく程までに追い詰められました。国は3連動の場合の制御棒挿入性問題をストレステストの対象外にするなど、この重要な問題を封じ込めてきました。判決の内容で「2.2秒を超える」ことが認められれば、「実質勝訴」です。



私たちは勝訴を確信しています。しかし、仮処分裁判で勝訴判決が出ても、すぐに大飯原発が止まるわけではありません。関電は判決に従わず、法的な対抗手段をとることが予想されます。関電の悪あがきを世論の力で封じ込め、国の責任も厳しく問い、大飯原発を止めましょう。

「あなたにできること」

1 「判決間近!」と  
広めよう!

2 ツイッターで  
情報拡散!  
#大飯原発裁判

3 準備を始めよう!  
「実質勝訴」の判決が出たら  
「判決に従って  
大飯を止めろ」の  
抗議の声を  
関電や国に届けてください。

「大飯原発差し止め仮処分裁判」の  
争点

大飯原発を止めるために  
みんなに知ってもらいたいシリーズ①



## 活断層が3連動して動けば、 制御棒は決められた時間に挿入できません

福島原発事故でさえ、規定通りに制御棒が挿入され、核の暴走だけはなんとか食い止めた。

ところが大飯原発では制御棒の挿入が大幅に遅れる可能性があるのです。



## 連動して地震が起きたら制御棒は時間内に入るの?

大飯原発の近くには3本の活断層があります。この活断層が連動して地震が起きた場合に、運転を止めるための制御棒は時間内に入るのでしょうか。

関電は「念のために連動」としていますが、活断層の専門家は3連動の可能性を強く主張しています。

